

「下書き用です。これをもって提出はできませんのでご注意ください。」

様式第6号（第24条、第25条、第33条関係）（甲）（1）

労働保険 概算・増加概算・確定保険料 申告書
石綿健康被害救済法 一般拠出金

継続事業
（一括有期事業を含む。）

標準字体 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

第3片「記入に当たっての注意事項」をよく読んでから記入して下さい。
OCR枠への記入は上記の「標準字体」をお願いします。

提出用

下記のとおり申告します。

種別 3 2 7 0 1 ※修正項目番号 ※入力徴定コード

年 月 日

あて先 〒

①労働保険番号 都道府県 所管 管轄 基幹番号 枝番号

※各種区分 管轄(2) 保険関係等 業種 産業分類

②増加年月日(元号：令和は9) ③事業廃止等年月日(元号：令和は9) ※事業廃止等理由
④常時使用労働者数 ⑤雇用保険被保険者数 ※保険関係 ※片保険理由コード

労働保険特別会計歳入徴収官殿

確定保険料算定内訳	⑦区分	算定期間 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで		
		⑧保険料・一般拠出金算定基礎額	⑨保険料・一般拠出金率	⑩確定保険料・一般拠出金額(⑧×⑨)
労働保険料	(イ)	千円	1000分の	円
労災保険分	(ロ)	千円	1000分の	円
雇用保険分	(ホ)	千円	1000分の	円
一般拠出金	(ヘ)	千円	1000分の	円

(注2)(注1) 石綿による健康被害の救済に関する法律第35条第1項に基づき、一般拠出金は延納できません

概算増加概算保険料算定内訳	⑪区分	算定期間 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで		
		⑫保険料算定基礎額の見込額	⑬保険料率	⑭概算・増加概算保険料額(⑫×⑬)
労働保険料	(イ)	千円	1000分の	円
労災保険分	(ロ)	千円	1000分の	円
雇用保険分	(ホ)	千円	1000分の	円

⑮事業主の郵便番号(変更のある場合記入) ⑯事業主の電話番号(変更のある場合記入)
※検査有無区分 ※算調対象区分 ※データ指示コード ※西入力区分 ※修正項目 ⑰延納の申請 納付回数

⑧・⑩・⑫・⑭・⑯の(ロ)欄の金額の前に「¥」記号を付さないで下さい。

⑮ 申告済概算保険料額		⑮ 申告済概算保険料額
(イ) 充当額	(⑮-⑩の(イ))	円
(ロ) 還付額	(⑮-⑩の(イ))	円
⑮ 差引額	(⑮-⑩の(イ))	円
⑮ 増加概算保険料額	(⑮の(イ)-⑮)	円
⑮ 法人番号		円

⑮ 期別 納付 額	第1期 初期 初期 又は	(イ) 概算保険料額 ⑮の(イ) + ⑮ + 次期 以降の円未満端数	(ロ) 労働保険料充当額 ⑮の(イ) (労働保険料分のみ)	(ハ) 不足額 ⑮の(ハ)	(ニ) 今期労働保険料 (⑮の(イ) - ⑮) 又は (イ) + (ハ)	(ホ) 一般拠出金充当額 ⑮の(イ) (一般拠出金分のみ)	(ヘ) 一般拠出金額 ⑮の(ヘ) - ⑮の(ホ) (注2)	(ト) 今期納付額 (ニ) + (ヘ)
	第2期	(チ) 概算保険料額 ⑮の(イ) + ⑮	(リ) 労働保険料充当額 ⑮の(イ) - ⑮の(ロ)	(ヌ) 第2期納付額 (チ) - (リ)				
	第3期	(ル) 概算保険料額 ⑮の(イ) + ⑮	(ヲ) 労働保険料充当額 ⑮の(イ) - ⑮の(ロ) - ⑮の(リ)	(ワ) 第3期納付額 (ル) - (ヲ)				
			円	円	円	円	円	円
⑯ 加入している 労働保険	(イ) 労災保険 (ロ) 雇用保険	⑰ 特掲事業	(イ) 該当する (ロ) 該当しない					
	⑱ 事業	(イ) 所在地						
		(ロ) 名 称						
				社会保険労務士記載欄				
				作成年月日 提出代行者 事務代理者の表示	氏名 電話番号 () -		⑲ 事業廃止等理由 (1) 廃止 (2) 委託 (3) 個別 (4) 労働者なし (5) その他	

⑫ 期間別確定 保険料算定 内訳	労災保険分	保険料算定基礎額	労災保険率	確定保険料額	雇用保険分	保険料算定基礎額	雇用保険率	確定保険料額
	前期分	(イ) 1000分の 千円	(ハ) 1000分の	(ニ) 円	前期分	(ヘ) 1000分の 千円	(チ) 1000分の	(ス) 円
	後期分	(ロ) 千円		(ホ) 円	後期分	(ト) 千円	(リ) 1000分の	(ル) 円
	合計	(イ) + (ロ) 千円		(ニ) + (ホ) 円	合計	(ヘ) + (ト) 千円		(ス) + (ル) 円